

おおなん

だ農 り業 委員 会



目次

農業委員会会長あいさつ……2	農業委員紹介……4～5
町議会議長あいさつ……2	農を守る人たち……6
活動報告……2	農業生産法人紹介……7
活動計画……3	農林振興課重点施策……8

2011年7月

第10号

ご あ い さ つ



農業委員会
会長 田中 正規

平素より農業委員会活動に対し格別のご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

四月より定数削減(二十八名→二十一名)となり、それぞれの委員が重要な役割を担うことになりました。議員も二名加わり、より活発な意見、提案等期待されます。

また農業委員会の会長は議会に出席することになりました。町議会の発言、情報を把握し、農家の代表としての意見を建議等を通じて町政に反映するよう考えています。

TPP問題につきましては昨年反対の意見書を提出していますが、これからの政府の動きに対し注視をしております。

農業振興策については、集落営農の推進、担い手農家の育成、新規就農者への支援等農業者の所得向上を図っていきます。耕作放棄地を新たに出不さないためにも、農業者の確保は緊急な課題のひとつです。

農業環境が厳しいなか農業者の意見を聞き、より良い邑南町の農業の展望が開けるよう町、JAと協力しながら課題の解決に取り組んでまいります。



邑南町議会
議長 松本 正

五月臨時議会で議長に就任いたしました松本正でございます。

浅学非才な私にとりましては、身に余る光栄であります。責任の重さも痛感しております。議会として新しい視点に立ち、議員が地域の声に即応したパイプ役になり、町民のみなさまにより身近な議会を示し、町の発展と様々な課題の解決に微力ながら努めたいと考えておりますのでよろしくご指導をお願いいたします。

三月十一日に起きました東日本大震災と東電の福島原子力発電所の事故を見ましても、天災と人災が重なり、被災地住民の方たちは、いつきに安心安全の暮らしが奪われました。このことについて菅内閣は、対応が機能しないまま三ヶ月が経とうとしています。いち早く被災地の方の安心安全な暮らしがもどるように日本全体そして私たちも努力をしなければなりません。

さて、農業委員会は選挙委員を二十一名から十六名に改正され新しい委員が選出されました。農業委員会など行政委員会には、政治的中立性を確保する観点からの問題解決が望まれます。

活動報告

毎年恒例!!

地産地消鍋

三月十九日、道の駅瑞穂で、好評の折しも東日本大震災の一週間後でありました。そこで、東日本に義援金として送りたいとの思いで、急ぎよ募金鍋として多くの方々にご協力いただき、六二〇九九円もの募金が集まり、社会福祉協議会を通じて被災地に送っていただきました。



官民一体となった農業振興を進めることが本町のような中山間地域では、集落の維持と活性化につながるものです。今後、みなさまの活力ある活動を期待いたします。

農業委員会

下記のとおり活動計画を策定し、実施していきます。

- ①認定農業者等担い手の育成及び確保
・集落営農や認定農業者の育成・確保を推進していきます。
- ②担い手への農地の利用集積
・出し手と借り手の情報の一元化による農地のあっせんを目指します。
- ③農地の利用状況調査の実施
・遊休農地を把握し、再生・利用すべき農地の再生・利用方法を模索します。
・違反転用を発見し、所有者への理解を得ながら是正措置を講じていきます。

農振部会

- ①狩猟免許を取得し、有害鳥獣駆除を行います。
- ②先進地の視察を行い、農業者へ有益な情報を提供していきます。
- ③農業者の新規参入促進のために、農地取得の下限面積要件について検討を重ねていきます。

農政部会

- ①農家の意欲の出る農業振興策を立案します。
- ②遊休農地の解消対策の探求・計画し、実践していきます。
- ③地域での次代の担い手確保に向けた対策を検討します。
- ④地産地消推進条例を活かして、地域の自給率を高め、地産地消をもっと奨める対策を講じます。

活動計画

邑南町がTPP研修会を開催

邑南町は六月二十四日、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）の理解を深めようと、研修会を開催しました。会場の元気館には三百人以上が参加しました。

石橋町長は、「この問題で自治体がかかわり、こうした研修会をするのは初めてではないか。TPPは町に大きく影響を与え、反対である」とあいさつしました。

各分野の専門家が講演し講演後、山陰中央新報社の前田幸二特別論説委員をコーディネーターにシンポジウムが行われました。

島根大学生物資源科学部の谷口憲治学部長は、「関税全廃で食糧自給率は十四%まで低下し、農業・農村が果たしている多面的機能も失われる」「今でも世界の食糧状況が厳しい中、よその国に頼っていて、売りませんといわれたときどうするか、食料が第三の武器というのは国際関係では常識になっている」「自給率を上げようという政府の食料・農業・農村基本計画にも逆行するものだ」と指摘。

公立邑智病院の石原晋院長は、「TPPは米国が日本市場で自由に商売できるようにする協定だ」

と本質をズバリ指摘。累積貿易赤字を抱え、輸出倍增計画を狙う米国が、TPPに日本を巻き込みたい事情と日本が受ける影響の大きさも解明。医療問題では、市場原理導入で、医療の営利産業化を招き、国民皆保険制度が崩壊し、進みつつある医療崩壊に追い討ちをかけることになると指摘しました。また米国は一九八〇年代から医療への市場原理導入を要求、時が医療崩壊の原因で、米国はさらにTPPで公的国民保険への民間参入、混合・自由診療、株式会社病院経営などを狙っている、とその危険性を訴えました。

島根県立大学総合政策学部の久保田典男講師はTPPが中小企業にもたらす影響について講演しました。



前田特別論説委員(左)と講師の方々によるシンポジウム

農業委員紹介

これから三年間、私たち二十一人で頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

それぞれの抱負や農業への想いを紹介します。

【①担当地区、②選挙・選任】



1 番
会長 田中 正規
①田所
②選挙

きのこ+野菜+水稲の認定農業者として毎日、日の出とともに起き、日の入になると仕事を止める生活をしています。農業の「一番の魅力は？」の答えは、「我が家でとれた旬の野菜、米を食卓へ」だと思っています。



2 番
会長代理 太田 忠男
①矢上
②選挙

矢上地区須摩谷出身です。(農)須摩谷農場の組合員として、農業に従事しています。先人から引き継いだ我が農業農村を守るため、第一に「集落営農」の推進を図り、鳥獣害防止、耕作放棄地解消と発生防止に努めてまいります。



3 番
三上 孝行
①口羽
②選挙

上田出身で上田を担当させていただきました。二期目となりました。もっともっと勉強して、皆さんのお役に立てるよう頑張りたいと思います。



4 番
河野 朋子
①口羽
②選挙

私は命の源を作り出す農業をとて大切に思っています。自然の中にあつて野菜や稲の生育を見回る時とても幸せを感じます。これからは安心して食べてもらえる食物を生産し提供していきたいと思っています。



5 番
福本 金次
①井原
②選挙

井原地区担当です。近年邑南町も高齢化が進み農業従事者が減少し、その結果遊休農地、耕作放棄地が増え、又鳥獣被害も深刻になっております。農地を守り、活気のある農業が出来るよう活動しますのでご支援お願いします。



6 番
寺脇 義文
①矢上
②選任
(農協)

邑南町においても担い手不足や、農地の荒廃が増大しており、これらの解消策として集落営農の法人化、定年帰農者、新規就農者確保などが進められています。委員の一人として地域農業の問題解決のため尽力していきます。



7 番
坂根 幹雄
①矢上
②選挙

自然豊かなこの邑南町での安全安心な農産物生産に必要な「農地」と「担い手」を守り、力強い農業を作ること。大きな使命とし、農業委員の任務を遂行させていただきます。



8 番
植原 敏夫
①高原
②選挙

農業委員の一員として、農業者の皆様を農業委員会へのパイプ役として伝えて参ります。私自身も三十一名の皆様から農地を預かり耕作を行っています。生涯現役で米づくり、百まで百姓、百勝、百笑！



9 番
石橋 純二
①高原
②選任
(議会)

議会から農業委員に推挙いただきました。

農業従事者の高齢化、農地の荒廃など中山間地の農業を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

貴重な農地の保全と邑南町の農業振興を図るよう努力する所存です。



10 番
草村 勇
①日貫
②選挙

平成十四年にUターンし九年目になりました。未熟な私ですが二期目に推薦していただき、日貫地区の家族構成・地理を把握し対話に心がけ、皆様方のご協力を受け農業の活性化に頑張ります。



11 番
濱 慎一
①中野・井原
②選挙

この度、井原西区・茅場の農業者の代表として担い手の確保・育成、優良農地の確保などに全力で取り組んで参ります。農地の売買・転用・農業者年金など、農業に関することは、地元農業委員に気軽にご相談ください。



12番 上田 延雄
①中野
②選挙

米価の下落や農産物の輸入自由化等、難しい状況です。国土保全のために安全安心な米、野菜を提供するために日本の農業は絶対必要です。土地を守るだけの農業にならないよう自分も頑張ります。



13番 石橋 博
①市木
②選挙

美しい農村、里山の風景を見るのは気持ちの良いものです。各地でいろんな取り組みがなされている。それらを参考にし、また新しい方法を見いだしこの風景がいつまでも続くよう努力したいです。



14番 大屋 光宏
①矢上
②選任 (議会)

議会推薦で農業委員を務めることとなりました。議会と農業委員会が連携し、農業のより一層の発展のため努力していきます。
また、農業研修生の支援など、農業をする人を育てることに力を入れたいと考えています。



15番 岩根 英則
①高原・布施
②選挙

これまで築いてきた農の営み、地域と暮らしを根底から壊すTPPは、なんとしてみんなで力を合わせてやめさせなければなりません。そして農の営みが地域に当たり前にある大切さを一緒に広げていきたい。



16番 寺本 正文
①日和
②選挙

早いもので六十一歳になりました。気持ちだけでも若さを保ちたいと思っています。農業の重要課題として従事者の高齢化、また耕作放棄地の解消などありますが、少しでもお役に立てればと思っています。



17番 日野 武信
①田所
②選任 (土地改良区)

瑞穂土地改良区から推薦をいただきました田所地区白谷の日野です。農業を取り巻く状況は、農村の過疎高齢化による後継者不足やTPP問題など課題が山積みしております。もとより浅学非才、力不足ではありますが皆様に指導いただき努めたいと思います。



18番 石橋 寿伸
①田所
②選挙

NOSAI島根を退職、上田所へ定住して三年、田畑の維持、暖房・給湯の薪集めの日々です。集落の定住者増を願い、鳥獣害防止を思考し、国産・地産品の購入を心がけています。
国内自給率を引き下げるTPP推進は人災です。



19番 松島 菊江
①阿須那
②選挙

雪田、宇都井の担当になりました。まだ二期目ですが、女性農業委員として出来ることを地域の皆様と一緒に頑張っていきます。気軽に声を掛けてください。



20番 沖田 浩
①出羽
②選挙

この度農業委員会でお世話になります沖田と申します。岩屋で酪農をしております。家族は九人、趣味はツーリングです。初めての委員ですが、地域農業発展のため、皆様方と一緒に微力ながら頑張っていきたいと思っております。よろしくお願ひします。



21番 細貝 輝男
①阿須那
②選任 (農業共済)

この度の改選で石見農業共済から推薦により農業委員に選任されました細貝輝男です。農家の皆さんのご期待に添うよう努力して参ります。いつでも気軽に声を掛けて下さい。どうか宜しくお願いいたします。

任期・平成二十三年四月一日 〜平成二十六年三月三十一日	
農振部会	農政部会
◎植原 敏夫 ○草村 勇 ○細貝 輝男	◎岩根 英則 ○河野 朋子 ○上田 延雄
田中 正規 福本 金次 寺脇 義文 石橋 博 大屋 光宏 石橋 寿伸 松島 菊江	田中 正規 福本 金次 寺脇 義文 石橋 博 大屋 光宏 石橋 寿伸 松島 菊江
◎正副部長	◎部員
◎は部長、○は副部長	

農を守る人たち

「ものを作ることは面白い」

瑞穂地域高原地区

定年帰農した 和田 英志さん

家の前と後に広がる段々畑。下和田集落の高台にある条件が良いとは言えない畑に多くのこだわり野菜が育っています。

一角にあるちよつと変わった茎の赤いカブのような野菜。

「知り合いの友人のポーランド人の大学教員から頼まれたビート（砂糖大根）です」

大阪で中学校の教師をしていましたが、五年前、母の介護のため定年まであと少しというところで退職し帰郷、「何かしなければ」という思いで、農の道に入りました。田畑合わせて六〇aの百姓です。

はじめはタマネギ四〇〇本を作っただけでした。いろんな人から、もつと違うものはないかと声をかけられ、作るものも増えてきました。今は合わせたら六〇種ぐらいのものを作っています。

面白そうなものだったら、人

のあまり作らないものにも挑戦。ビート以外にも、カリブロ、アルタリ大根など、聞き慣れない名前の珍しい野菜もあります。

得意なパソコンを使って、作物ごと、畑ごとの種まき、定植、収穫などはもちろん、この畑にイノシシが何時に入ったなど、細かい栽培日誌は欠かせません。

販路は産直市や庭先売り、宅配など様々です。

「産直市はいろんな情報を入れる格好の場です。この野菜どうやって食べたら美味しいのと聞かれることもあるので、料理の仕方の勉強もやっていますよ」

「農の営みは休みがなくしんどい。しかし、ものを作ることは面白いですよ」



スナップエンドウを収穫する和田さん

「農業に夢をもち」

石見地域矢上地区

Iターン就農した 林 光輪さん



レンタルハウスでのほうれん草栽培に取り組む林さん

今年から町が石見地域中野地区に設置した「農業研修用パイプハウス」を利用している林さんを紹介します。

林さんは広島からIターンで邑南町にきました。一年間の農業研修後、昨年からは矢上地区の空家を借りて就農しています。

「町の農業研修制度に応募した動機は

家族で協力しながら生計を営む農業に関心があったことと、豊かな自然環境で子育てをしたかったからです。

「研修終了後、就農した動機は

一年間の農業研修を通じて、農業をしていく夢が描けたことと、家族もこの町を気に入ったからです。

「レンタルハウスを使える感想は昨年露地野菜だけでしたが、ハウスがあることにより、天候に左右されず、栽培作物の選択肢も増え、特に冬場に葉物野菜等の栽培ができることに魅力を感じています。」

「経営規模は露地五〇a ます、広島菜、高菜

ハウス二棟 きゅうり、ほうれん草、春菊

「今後の目標はいろいろな野菜の栽培に挑戦し、技術と経験を積みながら自分にあつた作付け体系を確立していきたいです。」

「農業委員会への要望は

就農のための支援策は、認定就農者制度、農業+α事業、研修用ハウス等年々充実していますが、農業研修中からこれらの事業を利用した就農計画の指導があればもっとスムーズに就農できると思います。また、農地や中古のハウス等の情報をもっとほしいです。

農 業 生 産 法 人 紹 介

農事組合法人『みずほ』

(瑞穂地域淀原)



国の美称でもあり、今後法人が拡大成長することを予感させる、縁起の良い名前でもあることで、法人名にしました。

○法人の特徴

・九十歳を過ぎた二名を含め、組合員の平均年齢が七十二歳と高齢化の進んでいる法人ですが、逆に長年培ってきた経験を活かし、高齢者が元気に頑張っているのが特徴です。

・経営形態としては、水稻を中心として、機械作業以外の水管理などは個人へ再委託することとしています。

○組合のモットー

『生涯現役として働く』

『頑張って収穫をあげたものが報われる』

○構成員

組合員二十二名、理事四名、幹事一名

○経営規模

【水稻】 七・六ha

コシヒカリ

六・二ha

ハナエチゼン

〇・四ha

ヒメノモチ

〇・六ha

コシヒカリ(ハープ)

〇・四ha

【飼料作物】

二・四ha

【その他作物】

〇・六ha

○施設、機械

共同の施設及び機械の多くもリースで確保し、投資を抑え、法人として所有するのは、

コンバイン(四条刈り) 一台

米乾燥機(三石) 一台

米保冷库(一〇〇袋)

一台

スタンドホッパー

一台

で、倉庫や育苗ハウスも組合員から既存のものもリースで確保致しました。

○今後の目標

収益性の向上と若い担い手の確保。

農事組合法人みずほの代表の佐倉寛治さんは、知り合いの農家、法人の協力も得て、農業研修生の有井裕人さんを受け入れています。水稻、ナスやトマト、葉物の施設野菜、大豆などの栽培、農業機械の操作などの研修です。

有井さんは「いつかは祖母のいるこの町に帰りたいと思っていました。農業は自分で考えて、ものをつくって、そして売る。いろんな能力や技術が必要で、毎日が新しい発見で面白い」と、話しています。



佐倉さん(右)から農業について学ぶ有井さん

今年で設立三年目を迎えたばかりの稲作を主体とした法人です。
法人名の『みずほ』は、淀原地域は美味しい米の採れる里だという自負と、朝露のかかる瑞々しい稲穂の広がる景色は淀原の原風景そのものであること、また『みずほ』は日本

農林振興課重点施策

1. 農業活性化支援センターの活動

- 1) 集落営農組織、認定農業者の育成（地域内での農地の受け手の確保）
- 2) 新規就農者の確保
 - ・農林業奨学金制度、農業研修制度、ハウスのレンタル

2. 生産調整の増加への対策

県内の配分ルールが変わり、町内の作付面積は平成23年度で35ha減少し、平成25年度には82ha減少となる見込みです。その対策として、

- ①個人配分を改め、集団型転作へ（転作田を団地化することで、不耕作地の増加を防ぐ）
- ②自主財源による転作の助成金の確保（とも補償制度の創設）
 - 農家からの拠出金やその他資金を自己資金として、政策に左右されない転作者への助成を実施していくことを検討中。

3. 耕作放棄地対策事業

荒廃した農地をその所有者に代わって、引き受け手が再生・利用する取り組みに対する支援です。

- ・10万円/10aを超える再生利用活動へ5万円の定額支援。重機を用いて行う10万円/10aを超える活動の場合は10/10の定率支援。
- ・土づくり（2年目のみ）、営農定着、施設等補完整備の支援。

町内の農地の賃借料情報

平成二十二年五月から平成二十三年四月までに締結された利用権設定に関する賃借料（一反当たり）は以下のとおりでした。

水田（93件） うち無償貸借55件 (円、件)

	平均額	最高額	最低額	データ数	備考
羽須美	5,300	10,000	3,000	13	物納6件
瑞穂	6,200	12,000	3,700	8	物納5件
石見	7,000	10,000	3,300	17	物納8件

畑（20件） うち無償貸借10件 (円、件)

	平均額	最高額	最低額	データ数	備考
全 域	5,500	10,000	2,600	9	

※データ数は、集計に用いた利用権設定数です。
 ※金額は、百円未満四捨五入です。
 ※賃借料を物納（玄米）としている

る場合は、三十kg当たり五千円に換算してあります。

※この金額は、あくまでも参考例として表示していますので、賃借料は当事者間で話し合いのうえ決めてください。

◆表紙の写真の説明◆

(上) 六月二十六日に井原地区で田植え囃子が行われました。
 (下) 高原小学校の五年生が、社会科学習で田植えを行いました。

編集後記



東日本大震災で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

被災された皆様が元気を取り戻し、一日でも早く農業経営が再建できることを同じ農業者として祈らずにはいません。

今号には改選により委員となりました二十一名を紹介しています。一同力を合わせ農地保全、担い手育成など農業振興に努めて参ります。どうかご支援ご指導よろしくお願い致します。(河野)